〒905-0011 名護市字宮里 447-20 丸平第 2 アパート 102 号 TEL0980-54-8555 FAX0980-54-8556 E メール nago.kyodoc@bird.ocn.ne.jp
郵便振込口座記号番号 01710-0-166221 加入者名・新基地建設反対名護共同センター
2020.11.25 (水) 第 318 号

新基地建設反対名護共同センターニュース

サンゴ移植許可指示は地方自治法違反

「オール沖縄」がデニー知事の激励集会

辺野古新基地建設に向けたサンゴ移植を巡る訴訟の第１回口頭弁論が２０日、福岡高裁那覇支部で行われました。これに先立ち「オール沖縄会議」は裁判所前の城岳公園で約１００人の県民が集まり玉城デニー知事を激励する集会を開催しました。

加藤裕弁護士は「防衛局が申し立てていないのに農水省が沖縄県に許可するよう指示したことは、国と県は対等平等と定めた地方自治法に違反する」などと国の関与の違法性を指摘しました。

デニー知事は「知事の判断権限を奪うものだ。新基地建設を許さない」と決意を表明しました。

法廷で知事は、サンゴが「いったん死滅すれば元に戻すことはできない。到底納得できない」など意見陳述しました。国側は請求棄却を求めました。即日結審し、判決は来年２月３日となりました。

辺野古サンゴ訴訟の第１回弁論前の集会でガンバロー三唱する玉城デニー知事（前列左から３人目）ら＝20 日午後２時前、那覇市城岳公園

抗議船やカヌー繰り出し「違法工事は中止せよ！」
ヘリ基地反対協が海上からアピール

ヘリ基地反対協議会は 21 日、辺野古新基地建設現場のK8 護岸付近の海上から抗議行動を展開しました。抗議船６隻、カヌー30 艇、ゴムボート２隻から違法な工事強行に抗議し、中止を訴えました。

参加者は海上から「完成の見通しもない工事は税金の無駄遣いだ」などとスピーチをし、シュプレヒコールを響かせました。京都から歌手・川口真由美さんも駆けつけ、「海保の皆さんも聞いてください」とスピーカーでたたかいの歌を数曲披露しました。

南風原町の中正勇さん（66=写真）は、「空からも抗議の声を届けたい」とシーサーの絵に「工事やめろ！」と書いた凧を作って参加しました。強風のため船上からは揚げることはできませんでしたが、抗議船からスタンディングで凧を示し連帯しました。

「辺野古障がい者のつどい 2020」開催中止のお知らせ

辺野古障がい者のつどい
実行委員長　渡嘉敷綏秀（とかしきすいしゅう）

１２月５日に開催予定の表記つどいを、新型コロナ感染症拡大防止のため残念ながら中止することになりました。

しかし、本年が去る大戦から７５年という節目の年に当たることを踏まえ、実行委員会としてのアピール文を発信することになりました。アピール文は「戦後７５年」「障がい者」「新基地建設ノー」をコンセプトとする内容にしたいと考えています。

そして、１２月９日（水）の「障がい者の日」の午前１１時から辺野古のキャンプシュワブ前テント村でアピール文を読み上げ発信する予定です。

当日は三密との関係で事務局メンバーと座り込み行動参加の皆さんでアピール文を読み合わせしたいと思います。マスコミの取材とインターネットなどでの広報となります。

また、毎回お寄せいただいている皆さんからのメッセージも１１月末日をめどに受け付け、テント村の掲示板に掲示しますので、左記へ郵送、ファックス、メールでお送りいただければ幸いです。押し迫ってからの連絡で、何かとご迷惑をおかけしますが、ご協力よろしくお願いいたします。

【メッセージの宛先】「新基地建設反対名護共同センター」にお願いします。住所、電話、ＦＡＸ番号、アドレスは当ニュース最上蘭をご参照ください。

写真↑は「第２回辺野古障がい者のつどい」（昨年３月２日）の様子。円内は渡嘉敷実行委員長。

「障害は不自由であるが、不幸ではない。障がい者を不幸にしているのは社会である」ヘレン・ケラー